

適 用 規 格						
定 格	使用温度範囲		-25℃ ～ +85℃	保存温度範囲	-10℃ ～ +60℃	
	電 圧		AC 100 V , DC 140 V	_____	_____	
	電 流		2 A	適合ケーブル	φ4.2 ～ φ5	
性 能						
	項 目	試 験 方 法		規 格	QT	AT
構造	外観、構造及び仕 上げ	目視、寸法測定器にて測定する。		図面と合致していること。	○	○
	表示	目視にて確認する。			○	○
電 氣 的 性 能	接触抵抗	単位コネクタをDC 1 A で測定する。		15 mΩ以下	○	○
	絶縁抵抗	DC 100 Vで測定する。		1000 MΩ以上	○	○
	耐電圧	端子間、端子-シールド間にAC 300 Vの電圧を 1 分間印加する。		せん絡・絶縁破壊がないこと。	○	○
機 械 的 性 能	コネクタの挿抜力	_____ の鋼製ピンで測定する。		挿抜力 _____ N	—	—
	コネクタの挿抜力	適合コネクタで測定する。		挿抜力 30 N以下(ロック機構を含む)	○	—
	繰り返し動作	1000 回の抜き差しを行う。	単位コネクタの接触抵抗: 30 mΩ以下		○	—
			_____ の接触抵抗: _____ mΩ以下		—	—
	耐振性	周波数10～55～10 Hz/サイクル, 振幅 0.75mm, 5分/サイクルで3軸方向各10サイクル試験する。		①10μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損, ひび, 部品のゆるみがないこと	○	—
	耐衝撃性	加速度 490m/s ² , 持続時間 11 ms、 正弦半波 3軸両方向各 3回試験する。		①10μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損, ひび, 部品のゆるみがないこと	○	—
	コネクタ破壊強度	適合コネクタをカン合した状態で、 ケーブルを上下左右方向に力を加える。		30 N以下でコネクタの破損が無いこと。	○	—
環 境 的 性 能	定常状態の耐湿性	温度40℃, 湿度90～95%中に96時間 放置する。		①絶縁抵抗: 10 MΩ以上(高温時) ③絶縁抵抗: 100 MΩ以上(乾燥時) ③破損, ひび, 部品のゆるみがないこと	○	—
	温度サイクル	温度 -55℃ → 常温 → +85℃ → 常温 時間 30 → 10～15 → 30 → 10～15分 を5サイクル試験する。		①絶縁抵抗: 100 MΩ以上 ②破損, ひび, 部品のゆるみがないこと	○	—
	塩水噴霧	濃度5%の塩水、48時間放置する。		機能を損なうようなはなはだしい 腐食がないこと。	○	—
	耐熱性	温度 +85℃中に 96時間放置する。		破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐寒性	温度 -55℃中に 96時間放置する。		破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	—
	はんだ耐熱性	はんだこてをこて先温度+380±10℃で 3 ⁺¹ ₀ 秒間ソルダ・ホット部へ当てる。		外観に変形及びコネクタなどに著しい ガタがないこと。	○	—
	はんだ付け性	はんだこてをこて先温度+350±5℃で 2～3秒間のはんだ付けを行う。		はんだ付け表面は、ピンホール、ぬれなし はんだはじき部分などの欠点の ないこと。	○	—
	耐水圧性	適合コネクタをかん合した状態で 水深 1mに 0.5時間放置する。		コネクタ内部への浸水がないこと。	○	—
	耐気圧性	適合コネクタをかん合した状態で、コネクタ内部 に17-圧17.6kPaを30秒間加える。		コネクタ内部より気泡の発生がないこと。	○	—
	△の数	訂正記事	設計	検図	年月日	
△						
備考				承認	HY. KOBAYASHI	18.03.16
				検 図	HY. KOBAYASHI	18.03.16
				担 当	DS. MATSUNE	18.03.16
				製 図	DS. MATSUNE	18.03.16
試験規格の記載のない試験方法はJIS C 5402を適用している。(IEC 60512)						
注 QT:確認試験 AT:製品検査 ○:適用項目			図番	SLC-112103-31-00		
HRS	製 品 規 格 表		製品名	HR30-6J-6P (31)		
	ヒロセ電機株式会社		製品コード	CL130-2009-6-31		
					△	1/1